

令和四年十一月定例会（十一月二十四日）

長野広域連合議会会議録

長野広域連合議会

令和四年十一月二十四日（木曜日）

出席議員（二十九名）

第一番	西脇 かつる	議員
第二番	桜井 篤	議員
第三番	北澤 哲也	議員
第四番	市川 和彦	議員
第五番	若林 祥	議員
第六番	小泉 栄正	議員
第七番	堀内 伸悟	議員
第八番	勝山 秀夫	議員
第九番	鎌倉 希旭	議員
第十番	鈴木 洋一	議員
第十一番	竹内 茂	議員
第十二番	野々村 博美	議員
第十三番	中島 義浩	議員
第十四番	佐藤 壽二郎	議員
第十五番	宮本 泰也	議員
第十六番	和田 英幸	議員
第十七番	荻原 光太郎	議員
第十八番	吉池 明彦	議員
第十九番	西沢 悦子	議員
第二十番	小宮山 定彦	議員
第二十一番	小西 和実	議員

説明のため会議に出席した理事者

広域連合長（長野市長）	荻原 健司
副広域連合長	西澤 雅樹
理事（須坂市長）	三木 正夫
理事（千曲市長）	小川 修一
理事（坂城町長）	山村 弘
理事（小布施町長）	桜井 昌季
理事（高山村長）	内山 信行
理事（信濃町長）	横川 正知
理事（小川村長）	染野 隆嗣
理事（飯綱町長）	峯村 勝盛

欠席議員（一名）

第二十二番	小林 一広	議員
第二十三番	西原 澄夫	議員
第二十五番	森山 木の実	議員
第二十六番	佐藤 武雄	議員
第二十七番	小林 和人	議員
第二十八番	鎌倉 一夫	議員
第二十九番	渡邊 千賀雄	議員
第三十番	伊藤 まゆみ	議員
第二十四番	柴田 弘男	議員

説明のため会議に出席した職員

(事務局職員)

事務局長

会計管理者

事務局次長兼福祉課長

事務局次長兼環境推進課長

総務課長

福祉課主幹

福祉課長補佐

環境推進課長補佐

建設推進室長

竹村直高

西山昭雄

三井正幸

齊藤秀浩

西澤真一

中島威

石井康雄

竹内健一

保坂昌広

職務のため会議に出席した職員

書記

総務係長

総務係長

青木淳

飯島吉徳

宮下康宏

議 事 日 程

- 一 開会、開議
- 一 会期の決定
- 一 議席の指定
- 一 会議録署名議員の指名
- 一 諸般の報告
 - 例月現金出納検査及び定期監査の結果報告
- 一 常任委員会委員の選任について
- 一 議会運営委員会委員の選任について
- 一 議案第十四号（第十六号及び認定第一号）
 - 一括上程、理事者説明、質疑、委員会付託
- 一 議案第十七号 監査委員の選任について
 - 上程、理事者説明、質疑、討論、採決
- 一 一般質問
- 一 委員長報告
- 一 委員長報告に対する質疑、討論、採決
- 一 常任委員会委員の選任について
- 一 議会運営委員会委員の選任について
- 一 常任委員会及び議会運営委員会正副委員長互選の結果報告
- 一 常任委員会・議会運営委員会閉会中継統調査申出について
 - 上程、決定
- 一 副議長の辞職について

- 一 副議長選挙について
- 一 理事者挨拶
- 一 広域連合長挨拶
- 一 閉会

午前十時〇〇分 開会

○議長（小泉栄正） おはようございます。

ただいまのところ、出席議員数は二十九名でございます。

よって、会議の定足数に達しておりますので、これより令和四年十一月長野広域連合議会定例会を開会いたします。

午前十時〇〇分 開議

○議長（小泉栄正） 本日の会議を開きます。

本日の欠席通告議員は、二十四番、柴田弘男議員の一名であります。

初めに、会期の決定を議題といたします。

本定例会の会期につきましては、議会運営委員会の意見を徴しました結果、本日一日といたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 御異議なしと認めます。

よって、会期は本日一日と決定いたしました。

なお、日程につきましては、お手元に配布のとおり行いたいと思いますので、御了承をお願いいたします。

次に、広域連合議会議員に一部異動がありましたので、議席の指定を議題といたします。

議長から異動のあった十四名の議席を指定したいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 御異議なしと認めます。

ただいま御着席の氏名表示板に記載してあります番号のとおり議席を指定いたします。

新人議員はお手元の名簿の順に、自席で自己紹介をお願いいたします。それでは、一番の西脇かおる議員からお願いいたします。

○一番（西脇かおる） おはようございます。長野市の西脇かおるです。よろしくお願いいいたします。

○二番（桜井 篤） おはようございます。長野市の桜井篤でございます。どうぞよろしくお願いいいたします。

○七番（堀内伸悟） おはようございます。長野市の堀内伸悟でございます。よろしくお願いいいたします。

○八番（勝山秀夫） おはようございます。長野市の勝山秀夫でございます。よろしくお願いいいたします。

○九番（鎌倉希旭） おはようございます。長野市の鎌倉希旭です。よろしくお願いいいたします。

○十番（鈴木洋二） おはようございます。同じく長野市の鈴木洋二でございます。よろしくお願いいいたします。

○十一番（竹内 茂） おはようございます。長野市の竹内茂です。よろしくお願いいいたします。

○十二番（野々村博美） おはようございます。長野市の野々村博美です。よろしくお願いいいたします。

○十七番（荻原光太郎） おはようございます。千曲市の荻原光太郎です。よろしくお願いいいたします。

○十八番（吉池明彦） 同じく千曲市の吉池明彦と申します。よろしくお願いたします。

○議長（小泉栄正） ありがとうございます。

次に、会議録署名議員を御指名申し上げます。

十番 鈴木洋一議員、二十五番 森山木の実議員、以上二名の方を指名いたします。

この際、諸般の報告をいたします。

監査委員から、令和四年四月分から九月分の一般会計・特別会計の例月現金出納検査及び定期監査の結果について、議長の手元に報告書が参っておりますので、御報告いたします。

次に、議会第一号、常任委員会委員の選任を行います。

本件に関しましては、さきに広域連合議会議員に一部異動がありました。このため、長野広域連合議会委員会条例第七条第一項の規定により、議長から後任の委員を指名申し上げます。

総務福祉委員会委員に、桜井篤議員、勝山秀夫議員、鎌倉希旭議員、野々村博美議員、荻原光太郎議員、以上五名の方を指名いたします。

続きまして、環境衛生委員会委員に、西脇かおる議員、堀内伸悟議員、鈴木洋一議員、竹内茂議員、吉池明彦議員、以上五名の方を指名いたします。

次に、議会第二号、議会運営委員会委員の選任を行います。

本件に関しましては、さきに広域連合議会議員に一部異動がありました。

た。このため、委員会条例第七条第一項の規定により、議長から後任の委員を指名申し上げます。

議会運営委員会委員に、鈴木洋一議員、竹内茂議員、荻原光太郎議員、以上三名の方を指名いたします。

続いて、議事に入ります。

議案第十四号から議案第十六号及び認定第一号、以上四件、一括議題といたします。

理事者から提案理由の説明を求めます。

荻原広域連合長。

○広域連合長（荻原健司） 皆さん、おはようございます。

本日ここに、令和四年十一月長野広域連合議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には大変お忙しい中御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、全国的に新型コロナウイルス感染症が広がってきている中、本格的な冬を迎えるに当たり、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が懸念されております。議員の皆様はじめ関係市町村の住民の皆様におかれましては、今まで以上に基本的な感染予防策の徹底とウィズコロナを前提とした社会経済活動を継続していただくようお願いいたします。

それでは、本広域連合の主要事業の状況について申し上げます。

初めに、ごみ処理施設の運営について御報告いたします。

千曲市に整備を進めておりましたちくま環境エネルギーセンターにつ

きましては、試運転を無事に完了し、本年六月に本稼働いたしました。施設を受け入れていただいた千曲市屋代地区の皆様のをしつかり受け止め、安全で信頼される施設の運営に努めてまいります。

次に、最終処分場エコパーク須坂につきましては、本年八月二十三日に漏水を検知する警報システムが作動いたしました。同月二十五日にシステムが作動した原因を調査したところ、埋立地のり面の遮水シートに損傷が確認されたことから、直ちに補修を行い、九月八日に埋立業務を再開いたしました。

遮水シートが損傷した原因は、委託している運営事業者が埋立地内でのり面付近で作業した際に、誤って重機の爪を接触させたことによるものでございました。

地元の須坂市仁礼町の皆様には多大な御心配をおかけし、改めておわび申し上げます。

埋立作業の再開に当たっては、手順を見直すなどの再発防止策を講じた上で、特にのり面付近はより慎重に作業を実施しております。

今後も、施設を受け入れていただいた地元の皆様に信頼していただけるよう、安全で確実な管理運営に万全を期してまいります。

次に、高齢者福祉施設等の社会福祉法人への運営移管について申し上げます。

特別養護老人ホーム久米路荘等の運営移管については、移管のための基本的な事項について調整が整いましたので、移管先法人に決定している社会福祉法人ウエルフェアコスモスとの間で移管に関する協定書を取り交わし、来年四月の移管に向け、必要な手続を進めてまいります。

また、令和四年度は広域計画の方針に基づき、特別養護老人ホーム豊岡荘等の運営移管先法人を決定するため、本年七月から、豊岡荘等運営移管先選定委員会で審議いただき、選定委員会委員長から移管先候補者の報告を受け、十一月十四日開催の本広域連合理事会において慎重に協議した結果、運営移管先法人を決定いたしました。

本日は、先ほどの久米路荘等の移管に関する協定書及び豊岡荘等の運営移管先法人について、それぞれ議会全員協議会において御報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。

続けて、高齢者福祉施設の運営について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、長野広域連合の高齢者福祉施設では、十月末に集団感染が発生いたしました。十一月二十二日現在、施設内での新たな感染者は一週間以上確認されておりません。また、感染された方も療養期間が終了し、施設内も平常に戻りつつあります。

発生後直ちに感染者の保護と各接触者への検査を実施するとともに、保健所など必要な機関に連絡し、指導の下、感染拡大防止策を講じております。

今後も、施設に入れない、そして拡大させないよう、利用者と職員の体調に注視するとともに、基本的な感染防止策を徹底してまいります。

以上、本年度の主要事業の状況について申し上げますが、引き続き関係市町村と協力し、事業の推進に努めてまいりますので、議員の皆様のお支援と御協力をお願い申し上げます。

本議会に提出いたしました案件は、令和四年度長野広域連合老人福祉施設等運営事業特別会計補正予算など議案四件、認定案件一件であります。

す。

なお、議案等の詳細につきましては、人事案件は私から、その他の案件は副広域連合長から説明申し上げますので、十分な御審議をいただき御決定賜りますようお願い申し上げます。御挨拶といたします。よろしくお願いいたします。

○議長（小泉栄正） 西澤副広域連合長。

○副広域連合長（西澤雅樹） おはようございます。

私から、本定例会に提出いたしました各議案について御説明申し上げます。

初めに、議案第十四号、令和四年度長野広域連合老人福祉施設等運営事業特別会計補正予算について御説明申し上げます。

お手元の資料の議案目録のつづりを御覧いただきたいと思ひます。

議案目録一枚おめくりいただきまして、左上に議案第十四号と記載されております補正予算書の二ページを御覧いただきたいと存じます。

今回の補正予算でございますが、第一条で歳入歳出にそれぞれ八千七百七十四万一千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ二十六億八千三百四十五万円とするもの及び第二条で債務負担行為を第二表 債務負担行為補正のとおり追加するものでございます。

補正の内容でございますが、次の三ページをお開きいただきたいと存じます。

第一表 歳入歳出予算補正の下段の表、歳出から御説明申し上げます。

コロナ克服・新時代開拓のための経済対策を踏まえ、介護報酬改定により創設された加算に基づいた介護職員等の処遇改善費用として、第一款民生費、一項から五項の各運営費にそれぞれ計上するものでございます。

六項財産管理費の補正額七千五百十万円は、令和三年度において繰り越した各施設の決算剰余金を財政調整基金に積み立てるものでございます。

次に、上段の表、歳入でございます。

介護報酬改定により創設された介護職員等ベースアップ等支援加算の取得により、第一款サービス収入に九百八十二万円補正するものでございます。

なお、本広域連合が実施する処遇改善におきまして、加算の対象とならない事業につきましては、第五款の繰入金として、財政調整基金から二百八十二万一千円を繰り入れるものでございます。

六款繰越金の補正額は七千五百十万円で、各施設の令和三年度の決算剰余金でございます。

次に、四ページを御覧いただきたいと思ひます。

第二表 債務負担行為補正でございますが、令和五年度実施の介護事業者支援システム業務委託について、円滑な事業の実施により、安定的なサービス提供と効率的な施設運営を図るため、債務負担行為を行うものでございます。期間は令和四年度から令和五年度とし、期間中の限度額の合計を七百三十七万三千円とするものでございます。

以上、議案第十四号、補正予算の説明を終わります。

次に、議案第十五号、長野広域連合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について御説明申し上げます。

議案目録のつづりの十六ページを御覧いただきたいと思います。

この条例は、国家公務員に準じて、非常勤職員の育児休業の取得要件を見直すことに伴いまして、改正するものでございます。

次に、議案第十六号、長野広域連合公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について御説明申し上げます。

議案目録のつづりの十九ページをご覧ください。

この条例ですが、令和五年四月一日から、特別養護老人ホーム久米路荘等が社会福祉法人へ運営移管することに伴い、職員の派遣先を追加するため、改正するものでございます。

次に、認定第一号、令和三年長野広域連合一般会計及び各特別会計決算の認定について御説明申し上げます。

冊子になっております紫色の決算書を御覧いただきたいと思います。

決算書でございますが、最初に、表紙をおめくりいただきますと目次がございます。その目次の裏面にあります令和三年度長野広域連合一般会計・特別会計の決算総括表をお開きいただきたいと存じます。

まず、一番下の段にあります合計欄を御覧ください。

太字になっております令和三年度で行でございますが、一般会計と各特別会計を合わせた決算総額は、歳入が百十九億三千五百七十一万八千六十六円、歳出が百四億五千四百八十八万五千五百八十四円でございます。翌年度へ繰り越すべき財源は二億三千九百二十八万五千円で、実質収支額は十二億五千二百二十四万七千四百八十二円でございます。

下の増減の行でございますが、令和二年度と比較いたしますと、歳入では八億一千八百九十八万二千八百五十三円の減、歳出では七億六千六百七十九万九千五百五十二円の減で、実質収支額は二億八千五百五十八万三千三百一円の減となっております。

会計別でございますが、一番上の一般会計を御覧ください。

歳入総額は五億八千四百三十九万一千九百五十七円、歳出総額は四億四千六百八十四万二千九百七十一円、翌年度へ繰り越すべき財源はございませんので、実質収支額は一億三千七百五十四万八千九百八十六円でございます。

次に、老人福祉施設等運営事業特別会計でございます。

歳入総額は二十六億三千五百五十九万一千二百一十円、歳出総額は二十五億六千四百九十九万七千七百七十三円、翌年度へ繰り越すべき財源はございませんので、実質収支額は七千五百十万三千三百四十七円でございます。

次に、長野地域ふるさと事業特別会計でございます。

歳入総額は一千一百一十九万九千八百八十一円、歳出総額は三百九十五万九千二百二十円、翌年度へ繰り越すべき財源はございませんので、実質収支額は七百六十六万六千六百一十一円でございます。

最後に、ごみ処理施設事業特別会計でございます。

歳入総額は八十七億四百七十一万五千八百円、歳出総額は七十四億四千二百八十九万二千六百二十円、翌年度へ繰り越すべき財源は二億二千九百二十八万五千円で、実質収支額は十億三千二百五十三万七千四百八十八円でございます。

以上、一般会計及び各特別会計の決算の概要について御説明申し上げます。

ました。

詳細につきましては、おめくりいただき、一ページから四ページにあります歳入歳出決算書のほか、五ページ以降の歳入歳出決算事項別明細書を御覧いただきたいと存じます。

以上で説明を終わります。

よろしく御審議の上、御決定並びに御認定くださいますようお願い申し上げます。

○議長（小泉栄正） 以上で説明を終わります。

次に、西島監査委員から発言を求められておりますので、許可いたします。

西島監査員。

○代表監査委員（西島 勉） ただいま説明がありました認定第一号、令和三年度長野広域連合一般会計及び各特別会計の決算につきまして審査を行いましたので、私から、監査委員を代表いたしまして、その結果について申し上げます。

審査の結果、決算書及びその附属書類はいずれも関係法令に準拠しており、その計数は関係諸帳簿と符合し、正確であるものと認められました。

なお、審査の詳細及び意見につきましては、お手元に配布の審査意見書のとおりでございますが、私から、意見の概要について申し上げます。審査意見書の八ページを併せて御覧ください。

初めに、決算剰余金について申し上げます。

令和三年度決算における剰余金は、介護認定審査会費が五千五百四十八万円余で、令和元年度の約一・七倍、環境推進費が四千七百八十三万円余で約二・七倍、ごみ処理施設管理運営費が三億九千九百四十二万円余で、約二・二倍に増加しております。これは、歳出予算に不用額が生じたことなどが要因であり、関係市町村からの負担金に余剰が生じている状況です。

事業の安定的な運営を行う上で、一定程度の繰越金は必要であります。が、過大な繰越金とならないよう今後の剰余金の推移を注視し、必要に応じ関係市町村に返還するなど適切な財務処理を行うようお願いいたします。

次に、老人福祉施設について申し上げます。

一点目は、デイサービスセンターの運営についてであります。

デイサービスセンター二施設においては、令和三年度から日曜日を休業日とし、稼働日数を減らす措置を講じています。他の社会福祉法人等でも日曜日を休業としている事業者が大半であり、職員の労働条件の改善及び人材確保の観点からも適切な措置であります。

一方で、稼働日数を減らしたことによりサービス収入は減少し、それに見合うコスト削減が実現できなかったため赤字決算となり、財政調整基金からの繰入金は一施設合わせて一千六百万円となりました。

稼働率は六七・〇％で、前年度の六六・二％から微増となりましたが、日曜日に利用していた利用者を他の曜日に振り向けることが十分にできていないため、稼働日数を減らしたマイナスの影響が出ています。その

ため、従来からの利用者に対し、個別にアプローチして再利用を働きかけるなど、稼働率向上と収支改善の対策を講じるようお願いいたします。

二点目は、イベント・行事の実施についてであります。

新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、イベント・行事への制約も長期化していますが、各施設ではお花見などの外出、中庭での野菜作り、家族ごとの敬老祝いなど、創意工夫しながら取り組んでいます。

イベント・行事の実施は、利用者や家族にとって重要なものであるため、感染予防対策に万全を期しつつ、今後も可能な限り継続されるよう取組をお願いいたします。

三点目は、施設設備更新の計画的実施についてであります。

令和三年度には、はにしな寮のナースコールシステムの更新が行われましたが、昭和五十七年の施設開設当時に導入された旧式の設備であり、利用者の安全管理上、課題が生じていたものであります。

このような重要な設備については、耐用年数だけではなく、機能上の課題なども考慮して優先順位を判断し、適切な更新を進めていただくようお願いいたします。

また、広域計画において、高齢者福祉施設を社会福祉法人へ運営移管する方針が示されていることから、移管スケジュールを考慮し、施設設備の更新に当たっては、無駄が生じないよう計画的な実施をお願いいたします。

私からは以上です。

○議長（小泉栄正） これより議案質疑に入ります。

なお、御発言に当たりましては、議席番号及び氏名をお願いいたします。

それでは、質疑に入ります。

議案第十四号、令和四年長野広域連合老人福祉施設等運営事業特別会計補正予算について、質疑をお願いいたします。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。

続いて、議案第十五号、長野広域連合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について、質疑をお願いいたします。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。

続いて、議案第十六号、長野広域連合公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について、質疑をお願いいたします。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。

続いて、認定議案の質疑に入ります。

認定第一号、令和三年度長野広域連合一般会計、各特別会計決算の認定については、各会計ごとに一括してお願いいたします。

初めに、令和三年度長野広域連合一般会計。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。

令和三年度長野広域連合老人福祉施設等運営事業特別会計。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。

令和三年度長野広域連合長野地域ふるさと事業特別会計。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。

令和三年度長野広域連合ごみ処理施設事業特別会計。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。

以上で質疑を終結いたします。

議案第十四号から議案第十六号及び認定第一号、以上四件、お手元に配布いたしました委員会付託表のとおり、それぞれ関係の常任委員会に付託いたします。

次に、議案第十七号、監査委員の選任についてを議題といたします。

地方自治法第一百七十条の規定により、小林和人議員の退席を求めます。

（小林和人議員退席）

○議長（小泉栄正） 理事者の説明を求めます。

荻原広域連合長。

○広域連合長（荻原健司） それでは、議案第十七号、監査委員の選任について御説明申し上げます。

お手元、議案目録つりの二十一ページをご覧ください。

これは、二名の監査委員のうち、議会議員から御就任いただいております佐藤武雄委員が、一身上の都合により、十一月二十三日をもって監査委員の職を退かれますので、後任の委員として小林和人議員を選任いたしました。地方自治法第九十六条第一項の規定により、議会の同意をお願いするものでございます。

小林和人議員は、現在、小川村議会議長に就任されております。何とぞ御同意いただきますようお願い申し上げます。

○議長（小泉栄正） 以上で説明を終わります。

お諮りいたします。

本件に関しては、質疑、討論、委員会付託を省略して、直ちに採決に入りたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（再開） 午前十時五十分

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 異議なしと認めます。

採決に入ります。

採決を行います。

本件を原案のとおり選任について同意することに賛成の議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（小泉栄正） 全員賛成と認めます。

よって、本件は原案のとおり選任について同意することに決しました。除斥議員の入場を許可いたします。

（小林和人議員復席）

○議長（小泉栄正） ここで、十時五十分まで休憩いたします。

（休憩） 午前十時三十三分

○議長（小泉栄正） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程に従い、広域連合行政事務一般に関する質問に入ります。

発言の通告がありますので、質問を許します。

十五番、宮本泰也議員。

○十五番（宮本泰也） おはようございます。

新型コロナウイルス感染症は第八波に入り、三年間が過ぎようとしています。

広域連合の高齢者福祉施設の職員をはじめ、感染症拡大防止のため長きにわたる日夜大変な御努力をしていることに対し、感謝と敬意を申し上げます。

さて、二〇二〇年十一月定例議会で一般質問の試行が始まり、本格実施がなされていますが、残念ながら通告者が私一人という状況が続いております。

また、諏訪広域連合議会では、ホームページに録画ではありますが、YouTube上で配信しています。各広域連合議会それぞれやり方が異なりますが、開かれた広域連合議会を目指し、よりよいものにしていくようお願いいたします。

批判ではなく、より建設的な議論ができますよう、理事者の前向きな

御答弁を期待して、質問に入ります。

一、長野広域連合における課題への取組について。

一、長野広域連合における新しい課題に対してどのような取組をしているのか。

ア、私は、二〇二二年二月定例議会において、未利用資源たるプラスチックの広域処理の可能性及び消防組織の防災の広域化についてお聞きしました。

さらに、同年十一月定例議会において、地球温暖化防止はこれからの重要な課題とのことで、また、人口減は喫緊の課題であり、構成市町村の状況ではありますが、地球温暖化防止対策をはじめ、採算が難しい未来に向かってやらなければならないものについて、行政が先導して行政の広域化をさらに推進するべきと申し上げ、広域連合長就任の最初の広域連合議会において、荻原連合長は広域連合の在り方をどのように考え、未来に向かってどう発展運営されるのか、基本的姿勢について御説明をお聞きしました。この一年間どのような議論がなされたのか、お聞かせください。連合長として一年経過する中で、どのように考えておられるのか、

また、この間、構成市町村担当課長会議等の検討経過についてお聞かせください。あわせて、広域行政課題はないのか、あるとすれば今後どのように進めるのか、お聞きします。

イ、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が令和四年四月一日から施行され、プラスチック製品の設計から廃棄処理までに関わるあらゆる主体におけるプラスチック資源循環等の取組を促進するため

のものです。

須坂市においては、容器包装プラスチックについてステーション回収を行い、ストックヤードにて圧縮梱包し、指定法人ルートにて再商品化しております。

製品プランについては、処理施設及び機械の老朽化等の問題があり、資源物拠点回収において年四回回収しているのが現状です。

松塩地区広域施設組合においては、令和五年四月から、容器包装プラスチックと小型製品プラ、三十センチ以内のものが、一括で指定袋に入れ、ごみステーションに排出、回収し、松本クリーンセンターにて圧縮梱包機械で処理し、指定法人ルートにより再商品化するとお聞きしています。

また、三十センチメートルを超える製品プラについては、八十センチまでの製品プラを独自ルートで再商品化を検討しています。

長野広域連合において、処理施設の広域化整備はできないか、お伺いいたします。

二〇五〇ゼロカーボンや世界的な資源の不足、さらにはマイクロプラスチック問題などの対応は喫緊の課題であります。

また、人口推計では、日本の人口が今後急激に減少する中で、弱小自治体の存続が危ぶまれております。荻原広域連合長の強いリーダーシップの下、ぜひ実現されたいと思いますが、いかがお考えか、お聞きします。

○議長（小泉栄正） 荻原広域連合長。

○広域連合長（荻原健司） お答えいたします。

まず、この一年どのような議論がなされたのかについて、具体的な御質問いただきました。ありがとうございます。

初めに、関係市町村担当課長会議との検討経過についてお答え申し上げます。

長野広域連合では、関係市町村との協議により策定いたしました広域計画に基づき、事業を実施しておりますが、現行の広域計画は、令和三年度からの五か年計画でございます。この間、担当課長会議などにおいて、計画の進捗状況などを確認しながら、着実な事業実施に向けて進めさせていただいております。

なお、広域行政課題につきましては、年に数回開催いたします関係市町村担当課長会議において照会、確認をしております。現段階におきましては、特に要望などはないと承知をしております。

今後の進め方についてでございますが、現在、長野市が中心となりまして実施しております長野地域連携中枢都市圏構想による緩やかな連携を進めていくことが、長野地域にとってふさわしいものであると考えております。

したがって、次期広域計画の改定時において、引き続き長野地域連携中枢都市圏の連携事業の実施状況を見ながら有益性の評価を行い、広域連合での事業について内容を検討していきたい、こう思っております。よろしく願います。

○議長（小泉栄正） 竹村事務局長。

○事務局長（竹村直高） それでは、私から、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律への対応についてお答えいたします。

近年、地球規模での環境問題が深刻となっており、国内におけるプラスチックに係る資源循環をより一層促進する重要性が高まっていることから、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が昨年六月に公布され、本年四月から施行となりました。

この法律では、地方公共団体の責務として、市町村は、プラスチック製品廃棄物の分別収集及び再商品化に必要な措置を講ずるよう努めることが課せられております。

これまでに須坂市及び飯綱町においては、一部のプラスチック製品を分別収集し、民間事業者による再商品化を行うなど、長野地域では、各自治体の一般廃棄物処理計画に基づいた分別収集が実施されているところでございます。

同法律の対応につきましては、現在、関係市町村において検討を進めている状況にあると承知をしております。既に一部の自治体では、プラスチック製品と容器包装と一括回収し、圧縮梱包できる施設を備えた新しいリサイクルセンターの整備計画を進めているとお聞きしております。

広域連合といたしましては、ごみ処理広域化基本計画に基づき、可燃ごみ処理施設の整備運営に取り組んでおりますことから、プラスチックに係る資源循環の取組につきましては、各自治体の一般廃棄物処理計画に基づき実施すべきものと考えておりますので、御理解をいただきます。

よろしくお願いいたします。

○議長（小泉栄正） 宮本泰也議員。

○十五番（宮本泰也） 引き続き検討すると言っているんですが、今日も成果報告書を見ますと、広域的課題調査専門部会は三つとももう昨年の十月十九日によるZoomによるオンライン会議で、もうこれを廃止しちゃっているんですね。

そうすると、どこで担当課長会議、今年やったんですか。その中で、各アンケートは取っていると思うんですが、その辺の話は全然議題にもならないとかね、担当者会議で議論ないんでしょうか。私は、やっぱり議論は少なくともすべきと思うんですよ。今やっても五年、十年かかる話なんで、それについてはどうなんでしょうか。

○議長（小泉栄正） 竹村事務局長。

○事務局長（竹村直高） 本年につきましても担当課長会議の開催はしております。その中でも、皆さんから広域に対する要望等あればお聞きしてございますし、年間を通して副市町村長さんが集まる会議、また、首長さん方がお集まりになる理事会についても、広域に対する要望等お聞きしているところでございます。

今後も、先ほど冒頭の連合長の挨拶にもありましたけれども、広域計画の中でうたっておりますたごみ処理施設ですね、三施設が今年度よう

やくそろったということで、広域計画とすれば最大の事業が一応一旦ここで整ったのかなというふうに感じておりますが、現在、二年目の広域計画を迎えている中で、今後の広域課題につきましても、今後、各市町村からの御意見をこれからお聞きしながら次期計画に反映して、広域連合として取り組んだほうがより効率的である事業があれば計画に取り組んで、反映させてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いしたいと思います。

○議長（小泉栄正） 宮本泰也議員。

○十五番（宮本泰也） 私も担当課長に聞いたんですが、中枢のときに長野広域の職員が来て、ちよつとそこで聞いた程度という話にもお聞きしているんで、ぜひ、ここに市町村長さんも議員さんもいらつしやるので、ぜひ各市町村の課題あつたら上げていただきたいですね。

やっぱり、一の今やっているという話なんですけど、ほぼこれはもう出来上がった部分で、あと残りはもう一つの最終処分場ですよ。それは最大にやらなきゃいけないんですが、もう安定化しているんで、ぜひ広域課題というのをね。本当に中小の村、これから人口が、私ども少なくとも三万七、八千になっちゃうという予測できているので、特にこの場合、長野市が大きいので、長野市さんの意向がなければできないとは思いますが、だけれども、やっぱり常に新しく、せっかく広域というのがるので、ぜひ、引き続き要望を聞きながら検討していただきたいというのを要望して、この項についてはこの程度にします。

次に、二件目に移ります。

エコパーク須坂の運営についてお伺いします。

エコパーク須坂の運営における問題について、度重なる事故対応について。

先ほど広域連合長の陳謝がありました。八月二十三日、エコパーク須坂の漏水検知システムによる自動検知により検知された漏水事故については、上層遮水シートにすり傷と三か所の穴が空き、その原因は八月三日、運営事業者が行った重機による覆土整形作業による損傷との報告がありました。

前回の検知は、遮水シートの施工ミスとのものであり、今回は運営事業者のミスということで、度重なる事故は、地元仁礼区民の皆さんに御不安、御心配をおかけしたことであります。

今回の事故は、作業マニュアルが間違っていたのか、マニュアルに違反した作業だったのか、作業員が未熟なのか、それともシートの厚さ等に問題があったのか、その検証についてお聞きします。

二、運営事業者及び長野広域連合において、次のような再発防止策が示されました。

一つ、のり面側から埋立てを行うことで、十分な重機作業スペースを確保する。

一つ、のり面保護砂が崩れないよう、溶融スラグや覆土で押さえる。

一つ、のり面付近での作業時は監視員を二名以上配置、監視を強化。

広域連合職員が立ち会う。

一つ、埋立地の構造や作業手順等について、全作業員を対象とした再

教育を行うとのことですが、この再発防止策は完全に履行されているのか、その状況と今後の在り方等についてお聞きします。

いずれにしても、施設管理者としての長野広域連合が責任を持って委託者に対応していただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○議長（小泉栄正） 竹村事務局長。

○事務局長（竹村直高） 初めに、今回の遮水シートの損傷につきまして、地元でございます須坂市仁礼町の皆様には、多大なる御心配をおかけしたことを深くおわび申し上げます。

先ほど長野広域連合長からも御報告をさせていただきましたが、エコパーク須坂におきまして、今年の八月に遮水シートの損傷が確認され、埋立事業を一時中止をいたしました。この遮水シートが損傷した原因は、運営事業者が重機によりのり面付近の整地作業をした際、誤って、二層ある遮水シートのうち、上層の遮水シートに重機の爪を接触させ損傷させたものでございます。

こののり面付近では、地面に向かって遮水シートが側面から入り込んでいることから、特に慎重に作業を行う必要がありましたが、作業従事者ののり面に対する危険予知が不十分であったことが一番の原因と考えてございます。

施設管理を委託している事業者は、作業マニュアルに当たる事業実施

計画に基づき埋立作業を行っており、この計画においては、のり面付近の作業時は監視員を配置し、慎重に行うこととしておりました。当時、作業に従事した重機のオペレーターは、十分に経験のある作業員でございましたが、今回の作業においては、監視員は配置したものの、慎重に行うこととした計画の事項が守られておらず、監視員の役割が徹底されていなかったことから今回の事象に至ったものでございます。

このたび作成いたしました再発防止策につきましては、作業中において遮水シートの損傷が起こらないよう、今回のこれを検証し、運営事業者と協議を重ねた内容となっております。地元区の皆様にも御説明をいたしまして、御了承いただいたものでございます。

続きまして、再発防止策の履行状況と今後の在り方等についてお答えします。

再発防止策では、のり面の保護材や覆土等を優先して施工すること等をはじめ、のり面側は十分な作業スペースを確保するなどの対策に加え、のり面作業における監視員の増員や従事者への教育を徹底すること、さらにのり面作業を行う際には必ず広域連合職員が立ち会い、直接作業の管理をすることいたしました。

埋立業務を再開した九月八日以降、広域連合職員立会いの下、これまで二日間のり面付近で作業を実施しており、順調に埋立作業が進んでございます。

私から以上です。

○議長（小泉栄正） 宮本泰也議員。

○十五番（宮本泰也） 何点かお聞きしますが、まず八月三日の作業があつて八月二十三日の検知システムが察知した。これは、検知システムがちゃんと作動しているということなんですが、そのときに立会いができなかったら損傷したのが分からなかったということなんですが、その辺、シートがね、これは新しく、またこれから施設を造るので、そのシートが薄いか、その辺の構造的な問題はなかったんでしょうか。

○議長（小泉栄正） 竹村事務局長。

○事務局長（竹村直高） シートについては十分な強度が保たれているものと業者からも確認しておりますし、私どもも二重構造になっているシートは十分頑丈なものであるというふうに認識しております。ただ、シートについてはゴムのシートですので、重機のあの硬い爪ですよね、ああいったものでやられてしまうと、どうしても今回のように穴が空いてしまうような状況にはなるといふふうに考えております。

○議長（小泉栄正） 宮本泰也議員。

○十五番（宮本泰也） そういうことなんです。じゃあ、それはそれなんです。その辺は、やっぱり新しい施設ができるので、それでいいのかも一度検証していただきたいと思います。

それと、広域連合が立ち会うということで、普段、のり面は特殊なキ

ンチだと思っんですが、職員も大変だと思っんですが、その辺についてはこれからもずっとやられるつもりなんですか、それともある程度監視体制できれば、その辺は後はお任せという考えなんでしょうか、それについてはどうなんでしょうか。

○議長（小泉栄正） 竹村事務局長。

○事務局長（竹村直高） 現場は宮本議員もよく熟知されておると思うんですけれども、のり面というのは一部の周りにある部分ですので、ほとんどは、底地の埋立てがほとんどになるんですけれども、作業自体は、のり面についての作業については、今後も広域連合が職員立ち会って、慎重に行っていきたいと。

今回の事象については我々も深く受け止めておりますので、今後も慎重な対応に努めてまいりたいというふうに考えております。

○議長（小泉栄正） 宮本泰也議員。

○十五番（宮本泰也） 最後にしますが、いずれにしても、地元からするともう二度目なので、二度あることは三度あると言いますけれども、ぜひ三度目はないように、広域連合の職員の皆さんは大変だと思いますが、しっかり責任を持って管理して、二度とこういうことのないようところで管理運営していただきたいということを要望申し上げます、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（小泉栄正） 以上で、広域連合行政事務一般に関する質問を結びたいします。

委員会審査のため、この際、午後三時三十分まで休憩いたします。

（休憩） 午前十一時十一分

（再開） 午後三時三十分

○議長（小泉栄正） 休憩前に引き続き会議を開きます。

各委員会の審査が終了しておりますので、これより委員会の審査の経過並びに結果について、各委員長から報告を求めます。

初めに、総務福祉委員会委員長、佐藤壽三郎議員。

○総務福祉委員会委員長（佐藤壽三郎） 十四番、佐藤壽三郎であります。

私から、長野広域連合議会定例会におきまして総務福祉委員会に付託されました諸議案につきましては、お手元に配布されております総務福祉委員会決定報告書のとおり、全て原案のとおり可決及び認定すべきものと決定いたしました。

次に、委員会において要望された主なものについて申し上げます。

特別養護老人ホーム豊岡荘等運営移管先法人については、利用者のサービス低下にならないよう安定した施設運営が見込まれるまでの間、必

要な支援を要望いたします。

以上で報告を終わります。

○議長（小泉栄正） 以上をもちまして、総務福祉委員会委員長の報告を

終わります。

続いて、環境衛生委員会委員長、和田英幸議員。

○環境衛生委員会委員長（和田英幸） 十六番、和田英幸でございます。

私から、長野広域連合議会定例会におきまして環境衛生委員会に付託されました認定案につきまして、お手元に配布されております環境衛生委員会決定報告書のとおり、原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

以上で報告を終わります。

○議長（小泉栄正） 以上をもちまして、環境衛生委員会委員長の報告を終わります。

ただいま行いました委員長報告に対する質疑、討論がありましたら、該当議員は挙手をお願いいたします。

（「進行」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 進行いたします。

ただいまから委員長報告に対する質疑、討論、採決を行います。

初めに、総務福祉委員会所管の議案第十四号、令和四年度長野広域連合老人福祉施設等運営事業特別会計補正予算、質疑、討論の通告がありませんので、直ちに採決に入ります。

採決を行います。

委員長報告のとおり決することに賛成の議員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（小泉栄正） 全員賛成と認めます。

よって、委員長報告のとおり可決されました。

次に、総務福祉委員会所管の議案第十五号、長野広域連合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例、質疑、討論の通告がありませんので、直ちに採決に入ります。

採決を行います。

委員長報告のとおり決することに賛成の議員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（小泉栄正） 全員賛成と認めます。

よって、委員長報告のとおり可決されました。

次に、総務福祉委員会所管の議案第十六号、長野広域連合公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例、質疑、討論の通告がありませんので、直ちに採決に入ります。

採決を行います。

委員長報告のとおり決することに賛成の議員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○議長(小泉栄正) 全員賛成と認めます。

よって、委員長報告のとおり可決されました。

次に、各常任委員会所管の認定第一号、令和三年度長野広域連合一般会計、各特別会計決算の認定について、質疑、討論の通告がありませんので、直ちに採決に入ります。

採決を行います。

委員長報告のとおり決することに賛成の議員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○議長(小泉栄正) 全員賛成と認めます。

よって、委員長報告のとおり認定されました。

続いて、議会第三号、常任委員会委員の選任を行います。

本件に関しましては、委員会条例第七条第一項の規定により、議長から指名申し上げます。

総務福祉委員会委員に、桜井篤議員、若林祥議員、勝山秀夫議員、鎌倉希旭議員、野々村博美議員、佐藤壽三郎議員、荻原光太郎議員、吉池明彦議員、西沢悦子議員、小林一広議員、西原澄夫議員、佐藤武雄議員、

小林和人議員、渡邊千賀雄議員、小泉栄正、以上十五名。

環境衛生委員会委員に、西脇かおる議員、北澤哲也議員、市川和彦議員、堀内伸悟議員、鈴木洋一議員、竹内茂議員、中島義浩議員、宮本泰也議員、和田英幸議員、小宮山定彦議員、小西和実議員、柴田弘男議員、森山木の実議員、鎌倉一夫議員、伊藤まゆみ議員、以上十五名、それぞれの皆さんを指名いたします。

次に、議会第四号、議会運営委員会委員の選任を行います。

本件に関しましては、委員会条例第七条第一項の規定により、議長から指名申し上げます。

議会運営委員会委員に、市川和彦議員、若林祥議員、鈴木洋一議員、竹内茂議員、中島義浩議員、荻原光太郎議員、小宮山定彦議員、小林一広議員、西原澄夫議員、佐藤武雄議員、小林和人議員、渡邊千賀雄議員、以上十二名の方を指名いたします。

次に、常任委員会及び議会運営委員会の委員長、副委員長の互選のため、委員会条例第九条第一項の規定により、委員会の招集をいたします。お手元に配布の一覧表のとおり場所を定めますので、常任委員会、議会運営委員会の順序で、ただいまから順次開催されますよう御連絡申し上げます。

この際、正副委員長互選のため、午後四時十五分まで休憩いたします。

(休憩) 午後三時四十分

(再開) 午後四時十五分

○議長(小泉栄正) 休憩前に引き続き会議を開きます。

これより常任委員会及び議会運営委員会正副委員長の互選の結果を御報告申し上げます。

総務福祉委員会、委員長、荻原光太郎議員、副委員長、佐藤武雄議員、環境衛生委員会、委員長、中島義浩議員、副委員長、小宮山定彦議員、議会運営委員会、委員長、市川和彦議員、副委員長、渡邊千賀雄議員、以上のとおりであります。

次に、議会第五号、常任委員会、議会運営委員会、閉会中継続調査の申出についてをお諮りいたします。

本件については、この際、本日の日程に追加し、議題としたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(小泉栄正) 異議なしと認めます。

よって、本日の日程に追加し、議題とすることに決しました。

議会第五号、常任委員会、議会運営委員会、閉会中継続調査申出についてを議題といたします。

議会会議規則第百八条の規定により、お手元に文書をもって配布のとおり、各常任委員会委員長及び議会運営委員会委員長から閉会中の継続調査の申出があります。

お諮りいたします。

各常任委員会委員長及び議会運営委員会委員長から申出のとおり、閉会中の継続調査することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(小泉栄正) 御異議なしと認めます。

よって、各常任委員会委員長及び議会運営委員会委員長から申出のとおり決定いたしました。

(中島義浩副議長退席)

○議長(小泉栄正) 副議長中島義浩議員から、副議長辞職願が提出されております。

お諮りいたします。

この際、議会第六号、副議長辞職についてを本日の日程に追加し、議題とすることに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(小泉栄正) 異議なしと認めます。

よって、議会第六号、副議長辞職についてを本日の日程に追加し、議題といたします。

まず、その辞職願を書記に朗読させます。

○書記（青木 淳） 朗読いたします。

辞職願。令和四年十一月二十四日。長野広域連合議会議長様。長野広域連合議会副議長、中島義浩。

このたび、一身上の都合により副議長を辞職したいので、許可されるよう、長野広域連合議会会議規則第四百十三条第一項の規定により願います。

以上です。

○議長（小泉栄正） お諮りいたします。

中島義浩議員の副議長辞職願を許可することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 異議なしと認めます。

よって、中島義浩議員の副議長辞職願を許可することに決しました。

（中島義浩議員復席）

○議長（小泉栄正） 中島義浩議員から発言を求められておりますので、許可いたします。

○十三番（中島義浩） 須坂市選出の中島義浩でございます。

このたび、副議長職を辞することになりました。

これまで御協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

○議長（小泉栄正） ただいま副議長が欠員となりました。

お諮りいたします。

この際、議会第七号、副議長選挙を本日の日程に追加し、副議長選挙を行いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 異議なしと認めます。

よって、議会第七号、副議長選挙を本日の日程に追加し、直ちに選挙を行います。

お諮りいたします。

副議長選挙の方法につきましては、地方自治法第百十八条第二項の規定により、指名推選の方法を取りたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 御異議なしと認めます。

よって、選挙の方法は指名推選によることに決しました。

お諮りいたします。

指名の方法については、議長において指名することにいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 御異議なしと認めます。

よって、議長において指名することに決しました。

副議長に、十六番、和田英幸議員を指名いたします。

お諮りいたします。

ただいま指名いたしました和田英幸議員を副議長の当選人と定めることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（小泉栄正） 御異議なしと認めます。

ただいま指名いたしました和田英幸議員が副議長に当選されました。

ただいま当選されました和田英幸議員が議場におられますので、本席から、副議長選挙の当選人である旨の告知をいたします。

当選人の発言を求めます。

十六番、和田英幸議員。

○副議長（和田英幸） 千曲市選出の和田英幸でございます。

ただいま皆様方より副議長の任に御指名をいただき、当選をさせていただきました。謹んでお受けをさせていただきます。ありがとうございます。

長野広域連合につきましては、圏域内の地域振興、高齢者福祉施設の運営、ごみ焼却施設及び最終処分場の管理など様々な課題が山積しております。小泉議長を支えながら、長野広域連合議会がスムーズに運営されますよう努めてまいりたいと思いますので、皆様方の御支援、御協力を賜りますよう心からお願いを申し上げます。就任の御挨拶いたします。よろしくお願いいたします。

○議長（小泉栄正） 以上をもちまして、本議会定例会に提出されました案件の審議は全て終了いたしました。

次に、理事者から発言を求められておりますので、これを許可します。

信濃町、横川町長。

○理事（横川正知） 信濃町長の横川正知でございます。

このたび、十一月二十七日の任期をもって、この職を退任することになりました。

この間、皆さん方大変お世話になりました。心から感謝と御礼を申し上げます。

今後の長野広域連合と、また広域連合議会、さらに構成をされております各市町村のますますの御発展を心から御祈念を申し上げます。どうか、退任に当たっての御挨拶とさせていただきます。どうもあ

りがとうございました。

午後四時二十七分

○議長（小泉栄正） 次に、広域連合長から発言を求められておりますので、これを許可いたします。

荻原広域連合長。

○広域連合長（荻原健司） 長野広域連合議会十一月定例会の閉会に当たりまして、御礼の御挨拶を申し上げます。

本日提出いたしました案件につきましては、原案どおり御決定をいただき、誠にありがとうございました。心より厚く御礼を申し上げます。

今後も、関係市町村と力を合わせ、長野地域の住民福祉の向上に努めてまいりますので、議員の皆様方の御支援、御協力をお願い申し上げます。

今年もあと一か月余りとなりました。関係市町村におかれましても十二月議会を開催する時期となり、何かとお忙しい時期を迎えられておりますが、健康には十分に御留意されますとともに、ますます御健勝で御活躍いただきますよう御祈念申し上げます。閉会の御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（小泉栄正） 以上をもちまして、令和四年十一月長野広域連合議会定例会を閉会いたします。

地方自治法第二百三十三条第二項の規定により署名する。

令和 年 月 日

議 長

副 議 長

署 名 議 員

署 名 議 員